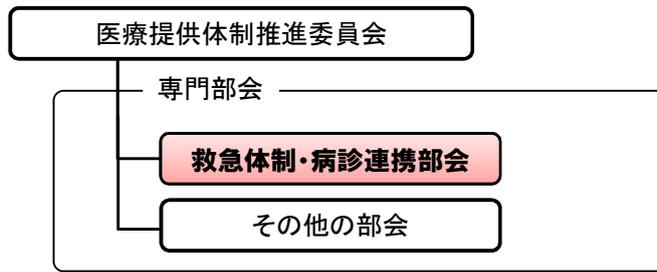


救急医療に関する継続的な話し合いの場について

現在の救急医療に関する検討体制

加賀市の救急医療体制の諸課題について検討する会議体
＝「**救急体制・病診連携部会**」



■組織(平成26年3月31日まで)

〔委員〕

- | | |
|----------------|-----------------|
| (1) 学識経験者 | 福井大学医学部附属病院 教授 |
| (2) 地域医療の代表者 | 加賀市医師会 代表者 |
| (3) 関係行政機関の職員 | 加賀市民病院 担当医師 |
| (4) 市長が必要と認める者 | 山中温泉医療センター 担当医師 |

〔事務局〕

- ・市役所(医療政策担当)
- ・消防(救急隊)
- ・市立病院(事務担当)

■これまでの主な検討事項

- 統合新病院への初期救急医療センターの併設について
 - ・併設のあり方について検討 院内(救急部門)に併設
 - ・運用(医師の配置等)についての意見交換
- 統合新病院の救急部門の計画について
 - ・建設基本計画や基本設計についての意見交換
- 統合新病院開院までの救急医療体制について
 - ・医師会との連携協力 休日急病診療の時間拡大
 - ・市立2病院の曜日担当制 月～金の時間外の救急搬送は基本的には2病院で分担して受ける
- 救急医療に関するトレーニングについて
 - ・救急搬送を断らない体制を目指すため、研修機会の必要性とそのあり方について意見交換

■任期

2年間(平成26年3月31日まで) = **平成25年度で終了**

⇒ **加賀市の救急医療について、継続して協議をする場が必要ではないか。**

救急医療に関する協議の場(案)

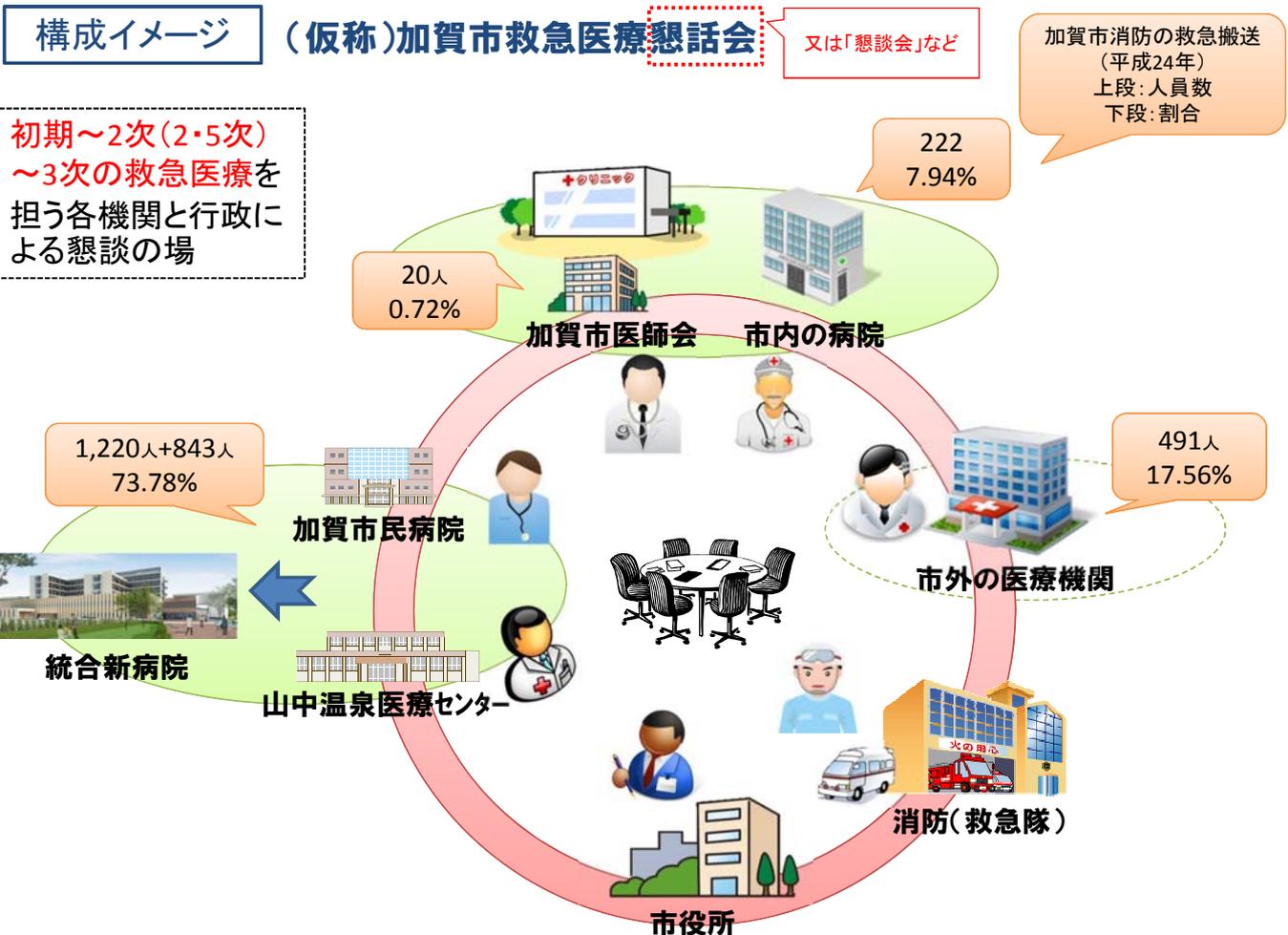
医療職・救急隊員など救急医療の現場に携わる者と行政職員が、“顔を合わせて”、加賀市の救急医療の現状や課題、その解決策などについて、率直に話し合う。

	医療職 ・医師(病院当直・救急外来、医師会休日急病診療、救急指導医) ・看護師(救急要請対応、問診・トリアージ)
	消防職 ・救急隊(救命措置、救急搬送)
	行政職 ・市 医療政策担当部署(データ収集・整理、政策調整)



≠ 堅苦しい会議

≡ 率直な話し合い・懇談



■協議事項の例

○救急患者の搬送先(市内での受入)の状況

- ・市内で受入できなかった(断った)ケースについて、その原因はどこにある？
- ・消防、病院からのデータを提示

○役割分担、連携

- ・それぞれ、できること・できないこと、得意なもの・苦手なものは？
- ・救急搬送の受け入れ要請や患者の引継ぎでゴタゴタしたことは？
- ・休日急病診療→当直医の引継ぎで問題が生じたことは？

○救急外来受診、救急車の利用等の状況

- ・患者の受診傾向:単に夜でも診療しているから...という理由で受診するなど、安易な時間外受診がされていないか？
- ・救急車の利用傾向:安易な利用はないか？
逆に、必要なのに呼ばないことは？
“コンビニ受診”の抑制、救急車の適正利用のための市民への周知啓発が不足していないか。

○合同研修などの企画

- ・病院・医師会(医師・看護師)、救急隊で合同の研修を行うなど

○統合新病院の救急ワークステーションについて

- ・救急隊の病院研修の方法
- ・救急隊と病院医師の連携のあり方 など